

## 臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

**研究課題名：**肥満症例における子宮内膜調整法の選択—分娩時異常出血のリスクから考える

**研究責任者：**村林奈緒

**研究目的と意義：** ホルモン補充周期での胚移植は分娩時多量出血と関連することが指摘されている。このため自然排卵周期での胚移植が望ましいが、排卵障害の症例ではホルモン補充周期に頼らざるを得ない。肥満は排卵障害と関連することから、肥満症例におけるホルモン補充周期移植の割合と、体重管理の影響について検討を行った。

**研究方法：**胚移植周期別の分娩時多量出血（経膈分娩800mL以上、帝王切開1500mL以上）の割合および初診時体格と胚移植方法について検討した。また、肥満症例において減量が胚移植方法に及ぼす影響についても検討を行った。

**対象となる患者様：**2015年3月～2022年9月に当院で凍結融解胚移植を行った女性  
**発表学会（日時）：**第69回生殖医学会学術講演会総会（2024年11月14日-15日）

**個人情報取り扱い：**本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2024年10月13日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

**研究番号：**2024 — 0014

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 [tawara-ivf@i.softbank.jp](mailto:tawara-ivf@i.softbank.jp)

以上